

咲き誇れ！ 歓迎の花々

5月下旬～アルプス花街道定植作業

安曇野を訪れる人を美しく咲く花々で歓迎する「アルプス花街道」の定植が市内9箇所で行われました。本年度は66団体、約1,100人が参加。安曇野ICの北側やほりがね物産センター前の沿線などに、約7,100株のマリーゴールドが植えられました。今後は参加団体によって管理され、10月ころまで鮮やかな花々が安曇野の風景を彩ります。

本年度で25回目を迎える「アルプス花街道」は、長野冬季五輪に訪れる皆さんを歓迎するとともに、大会の成功を祈念して1997年にスタートしました。

参加団体や活動場所は市HPで紹介しています。



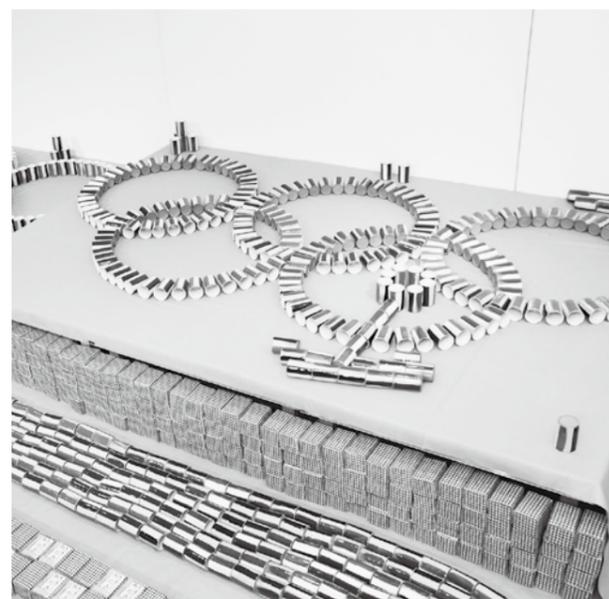
1964年の湯飲みで表現

5/25～6/4 「御湯呑」アート展

772点の湯呑みを使った展示を穂高交流学習センター「みらい」で行いました。

展示に使用された湯呑みは、前回の東京五輪(1964年)の年に京都市内の寺院・青蓮院で焼成されたものを使用。青や赤、黄色などの湯呑みを、立てたり横にしたりして、五輪のマークやエンブレム、「希望」の花言葉を持つガーベラなどの形に並べました。

この展示は湯呑みを所有する望月昇さん(穂高)が新型コロナウイルスの終息を願い企画。望月さんは「コロナ禍の今、旅心とコロナの終息、五輪開催の願いを表現しました」と作品への想いを話してくれました。



工事現場に並ぶ あふれる笑顔

5/25～新総合体育館仮囲いに笑顔の写真

10月に完成予定の新総合体育館に親しみを持っていただこうと、工事現場北側の仮囲いに、市民の笑顔の写真を展示しています。展示しているのは4月の聖火リレー応援企画として沿道に掲出した178枚の写真。子どもや家族の写真など、15枚以上にわたり、笑顔の写真とメッセージが並んでいます。

併せて、市内4つの高校の生徒や卒業生が手掛けた絵画や写真、書なども展示。工事現場にアートの花を咲かせています。展示は仮囲いを外す予定の6月下旬から7月上旬まで見ることができます。



【東京2020オリンピック・パラリンピック】 オーストリアカヌー代表選手に 安曇野からエールを!!



市はオーストリア共和国のホストタウンとして、カヌーチームを応援しています。東京2020オリンピック・パラリンピックには、次の選手の皆さんが出場します。安曇野への来訪はありませんがこれまでの交流を大切に、安曇野からエールを送りましょう!

東京2020オリンピック・カヌースラローム、パラリンピック・パラカヌー オーストリア代表選手

ヴィクトリア
ヴォルフハルト選手



【女子K-1出場】

ナディーヌ
ヴェラチニ選手



【女子C-1出場】

フェリックス
オッシュマウツ選手



【男子K-1出場】

マルクス
スボボダ選手



【男子パラカヌーKL2出場】

用語解説

競技用語を一部紹介します

- カヌースラローム…コース上に吊るされたゲートを通る技術とゴールまでのタイムを競います。
- K-1…カヤックシングル。両端にブレード(水かき)のついたパドルを使うのが特徴です。
- C-1…カナディアンシングル。片方だけにブレードのついたパドルを使うのが特徴です。
- KL2…K(カヤック)のL2クラス。L1からL3まで3つある障がいクラスの2番目にあたり、下肢で踏ん張ることは困難だが、胴体と腕の力で漕ぐことができる選手が出場するクラス。



▲カヤック
カナディアン▼



食べて知るホストタウン

ホストタウンの食文化を学ぶため、5月12日(水)には、オーストリアにちなんだ料理を市内小中学校の給食で提供しました。



ピラフ

主食はこの日のメニューに合わせた洋風ご飯

クラウトザラート

酸味を効かせた千切りキャベツのサラダ

ウイナーヴルステル

日本でもおなじみ、いわゆる焼きウイナー

マメ知識

「ウイナー」は首都ウィーンでつくられたことから、「ウィーン風」という意味で名付けられました。

グラーシュ

トマトベースの牛肉の煮込み料理

